

◆CLT等を活用した木造建築物を都市部において数多く整備することは・・・

■木材需要の飛躍的拡大

CLTの活用を核とした
豊かな社会の実現

◆森林整備の促進とCO2の吸収量増加

◆地域での雇用の創出

◆地域経済の活性化

◆地球温暖化対策への貢献(炭素の長期固定)

◆SDGsの目標達成への貢献

◆都市部の生活環境の向上

◆活用促進に向けた「CLTを核とした木材活用の宣言」

CLT首長連合(R1.7.24)

- 自らが整備(建築)する施設においては、CLTをはじめとした木材の活用に努める
- CLTを核とした木材の活用を推進するため、管内の民間事業者等が行うモデル的な施設の整備が促進されるよう国及び地方自治体の助成制度や新たな技術に関する情報の提供を行うなど積極的に支援
- 交流のある民間事業者等に対して、CLTをはじめとした木材の活用を推奨
- 中・大規模建築物等にCLTをはじめとした木材を活用できる建築士等の育成や、民間事業者等へ木の良さや木を使うことの意義に関する理解の醸成につながる情報提供に努める

◆CLTを普及するための課題

コストダウン

- ・RC等に比べ部材コストが高く、価格競争に課題
- ・既存パネル工場の稼働率が低い

施主の理解醸成

- ・木材の耐火、防腐性能への不安払拭
- ・木材がもたらす心理的・生理的効果の理解

木造建築に精通した建築士等の育成

- ・非住宅分野では、木造率が低く、木造建築に関わる機会が少ない

新用途の開発

- ・建築物以外での活用事例が少ない
- ・新たな分野における木の特性を活かした活用

◆課題解決に向けた対策・取組

- コストダウン → 事例の蓄積による汎用性の高い技術・仕様の確立及び普及への支援
建築棟数の拡大・工場稼働率の向上によるCLT生産コストの低減
原木生産からCLT建築までのサプライチェーンマネジメントの構築によるトータルコストの低減
- 施主の理解醸成 → 耐火や防腐性能など木材の性能に関する情報発信
利用者等へのモニタリングや木の健康、環境面等への効果の科学研究による実証と普及
SDGs、ESG投資における木造の価値の提案
- 建築士等の育成 → CLT建築を提案できる、木造建築に精通した建築士等の育成に対する支援
設計・計算ツールの提供
- 新用途の開発 → 木材、CLTの特徴を活かした土木分野など幅広い分野での活用研究

首長連合を中心とした公需の拡大とあわせて

動き始めた民需の本格的な流れをつくる

◆施設整備への支援の拡充

- ◆公共施設整備に係る補助事業、地財措置の拡充（起債充当率、基準財政需要額算入率の上限拡大など）
- ◆民間企業等が整備する施設への支援拡充
- ◆インセンティブを与える資産評価基準の確立及び税制緩和の拡充



CLT等の木材製品を活用した街(まち)づくりの推進